

## 能登町下水道事業経営戦略

団 体 名 : 石川県能登町

事 業 名 : 漁業集落排水事業

策 定 日 : 平成 29 年 3 月

計 画 期 間 : 平成 29 年度 ~ 平成 38 年度

## 1. 事業概要

## (1) 事業の現況

## ① 施設

供用開始年度 (供用開始後年数)	平成11年度(供用開始後 17年)	法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	非適用
処理区域内人口密度	9人/ha	公共下水道等への 接続の有無	無し
処 理 区 数	2処理区		
処 理 場 数	2施設		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	該当なし		

\*1 「広域化」とは、一部事務組合による事業実施等の他の自治体との事業統合、公共下水道への接続を指す。  
「共同化」とは、複数の自治体で共同して使用する施設の建設(定住自立圏構想や連携中枢都市圏に基づくものを含む)、広域化・共同化を推進するための計画に基づき実施する施設の整備(総務副大臣通知)、事務の一部を共同して管理・執行する場合(料金徴収等の事務の一部を一部事務組合によって実施する場合等)を指す。  
「最適化」とは、①他の事業との統廃合、②公共下水・集排、浄化槽等の各種処理施設の中から、地理的・社会的条件に応じて最適なものを選択すること(処理区の統廃合を含む。)、③施設の統廃合(処理区の統廃合を伴わない。)を指す。

## ② 使用料

一般家庭用使用料体系の 概要・考え方	基本料金 10m <sup>3</sup> まで1,620円/月 従量料金 10m <sup>3</sup> を超える分 : 1m <sup>3</sup> につき162円 ※消費税込(以下、同じ)		
業務用使用料体系の 概要・考え方	同上		
条例上の使用料*2 (20m <sup>3</sup> あたり) ※過去3年度分を記載	平成25年度	3,160 円	実質的な使用料*3 (20m <sup>3</sup> あたり) ※過去3年度分を記載
	平成26年度	3,240 円	
	平成27年度	3,240 円	
	平成25年度	3,372 円	
	平成26年度	3,473 円	
	平成27年度	3,497 円	

\*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20m<sup>3</sup>あたりの使用料をいう。

\*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20m<sup>3</sup>を乗じたもの(家庭用のみでなく業務用を含む)をいう。

③ 組織

職 員 数	上下水道課 12名 (うち下水道7名) 当該事業の損益勘定職員数 1名 当該事業の資本勘定職員数 0名
事業運営組織	

(2)民間活力の活用等

民間活用の状況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	処理場の保守管理業務を委託しています。
	イ 指定管理者制度	該当事項なし。
	ウ PPP・PFI	該当事項なし。
資産活用の状況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	該当事項なし。
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	該当事項なし。

\*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。

\*5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3)経営比較分析表を活用した現状分析

※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知)による経営比較分析表)を添付すること。

平成27年度決算における「経営比較分析表」を添付しています。 経営比較分析表は、経営及び施設の状況を表す経営指標により、経年比較や類似団体との比較を行い、経営の現状や課題を的確かつ簡明に把握することができるものです。
---

## 2. 経営の基本方針

### 1. 適切な事業計画の策定と推進

#### (1) 整備事業

① 事業計画 4.5haは平成18年度に概成。

#### (2) 更新事業

① 施設の更新需要を適切に把握し、下水道機能の保全に努めます。

② 将来的な汚水処理状況を考慮し、施設規模や機器能力の適正化によりダウンサイジングを検討するとともに、更新費用や動力費等のランニングコストの縮減を行います。

### 2. 経営基盤の強化

#### (1) 事業の効率化と適正化

① スtockマネジメントにより施設を計画的かつ効果的に管理することで、管理費の平準化や削減に努めます。

#### (2) 収入の確保

① 接続率（水洗化率）の向上

未接続世帯への個別訪問や下水道への接続を促進する助成金制度活用により、早期の接続を促し、接続率の向上に努めます。

## 3. 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資・財政計画（収支計画）：別紙のとおり

※ 赤字がある場合には（3）において、その解消方法が示されていることが必要

(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

### ① 収支計画のうち投資についての説明

#### 【投資の目標に関する事項】

事業計画区域の面整備は、平成18年度に終了しており、新規拡張等の整備計画はないが、老朽化により必要となる設備等の更新については、適切な更新計画により事業の効率化や費用の平準化を行うものとします。

#### 【管渠、処理場等の検閲・更新に関する事項】

耐用年数を超過する処理場やマンホールポンプ場の機械設備の更新を、費用計上しました。なお、管渠については、収支計画期間中に標準耐用年数50年を超過するものはないため計画しておりません。

#### 【広域化、共同化、最適化に関する事項】

隣接の処理区からの距離等、地理的な条件から他の事業・同種事業との統合等の最適化は難しく計画はしていません。

#### 【投資の平準化に関する事項】

更新事業においては、適切な更新計画により実施することで、事業の効率化や費用の平準化を図ります。

### ② 収支計画のうち財源についての説明

#### 【財源の目標に関する事項】

使用料収入と一般会計繰入金（基準内）により財源が賅われることを目標としています。

#### 【使用料収入の見通し、使用料の見直しに関する事項】

水洗化接続率は59%となっており、接続率の増加は見込めますが、人口減少の影響で、水洗化人口は微減であり、有収水量の減少により使用料収入は微減で推移していく見通しです。なお、収支計画期間中の使用料の見直しは考慮していません。

#### 【企業債に関する事項】

資本費平準化債については、地方債償還額による減価償却費により算出した発行可能額での借入れを計画しています。

#### 【繰入金に関する事項】

一般会計からの繰入金については、基準内繰入を基本としています。

#### 【資産の有効活用に関する事項】

活用対象資産がないため、活用計画はありません。

### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

#### 【職員給与費に関する事項】

当該事業においては、現状で職員給与費の費用負担があり、以後も同様として計画しています。

#### 【動力費、薬品費に関する事項】

処理水量は、微減傾向にあるが、費用実績は一定範囲で変動しているため、過去5年間の平均で固定して計上しています。

#### 【修繕費に関する事項】

突発的な変動が見られるものの、費用実績は一定範囲で変動しているため、過去5年間の平均で固定して計上しています。

#### 【委託費に関する事項】

費用実績は一定範囲で変動しているため、過去5年間の平均で固定して計上しています。

#### 【その他】

上記以外の費用は、近年ほぼ一定であるため、固定して計上しています。

(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

\* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画（収支計画）に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

\* 処理区ごとに考え方が異なる場合は、処理区ごとに記載すること

広域化・共同化・最適化に関する事項	隣接の処理区からの距離等、地理的な条件から他の事業との統合等の最適化の計画はありません。
投資の平準化に関する事項	資産情報により更新需要を把握し、更新費用の平準化に取り組みます。
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	該当事項なし。
その他の取組	該当事項なし。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料の見直しに関する事項	定期的に事業運営に必要な経費を適正に把握し、経営の健全化、安定化のために必要な使用料体系の検討を行います。
資産活用による収入増加の取組について	該当事項なし。 ※ 収入増加となる活用可能資産なし。
その他の取組	該当事項なし。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	比較的小規模の処理場が、広範囲に立地しているため、包括的民間委託等の事業者の確保が困難です。
職員給与費に関する事項	他事業との均衡を考慮し、職員数と職員給与費について検討していきます。
動力費に関する事項	処理水量の時間的、季節的変動に応じて、主要な機器の運転時間を制御することにより、動力費を削減することを検討していきます。
薬品費に関する事項	処理水量が減少傾向にあることから、消毒用薬品の溶解量が過剰にならないようにし、薬品費を削減することを検討していきます。
修繕費に関する事項	更新事業との関連性を考慮した修繕計画により、費用の削減、平準化を図ります。
委託費に関する事項	現在、各処理区とも、機器点数の削減の見込みは小ですが、今後機能強化を計画・実施し、機器能力、機器点数が低減した場合は、委託費の算定内容を見直すことを検討していきます。
その他の取組	該当事項なし。

4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	毎年度、経営分析により、進捗管理（モニタリング）を行い、おおむね5年ごとに経営目標の見直し（ローリング）を行います。
---------------------	--

# 経営比較分析表

石川県 能登町

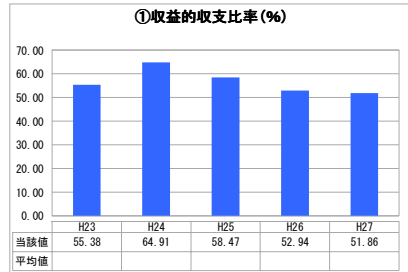
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.18	103.02	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,750	273.27	68.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
404	0.45	897.78

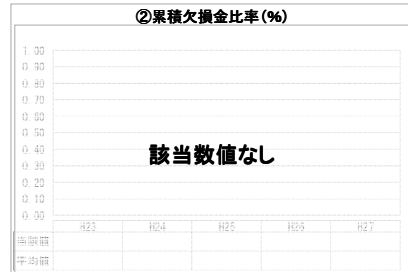
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

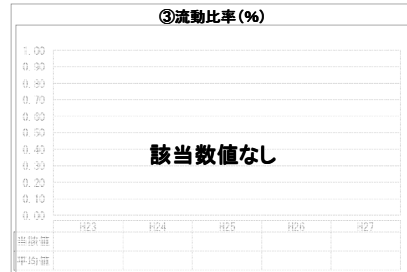
## 1. 経営の健全性・効率性



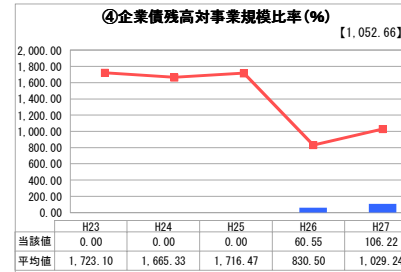
「単年度の収支」



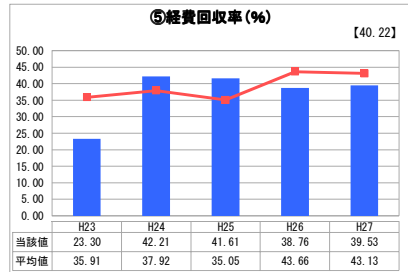
「累積欠損」



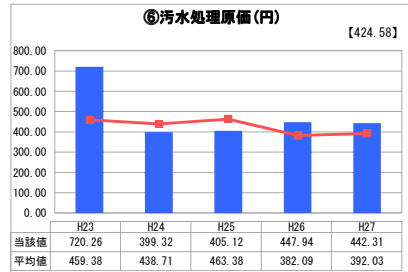
「支払能力」



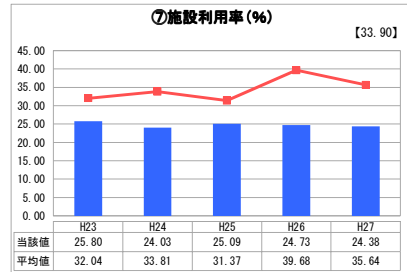
「債務残高」



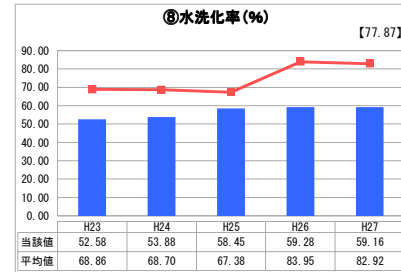
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度満たしているかを表す収益的収支比率については、経年比較では100%未満となっている。これは使用料収入等の増加に比べ維持管理経費や地方債償還金の増加の方が大きいことが要因となっている。

②料金収入に対する企業債残高の割合を示す企業債残高対事業規模比率については、経年比較では良い状況であり類似団体との比較でも低い水準であり、投資規模が適正であることを表している。

③使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄っているかを表す経費回収率については、経年比較では僅かながら低下傾向にある。類似団体との比較でも悪い。これは汚水処理費（維持管理費）の増加が主な要因であり、今後さらなる適正な維持管理に努める必要がある。

④汚水処理原価1㎡あたりの汚水処理費に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理コストを表す汚水処理原価については、経年比較では上昇傾向にある。汚水維持管理費が増加していることが主な要因であり、類似団体との比較でも高い水準となっている。

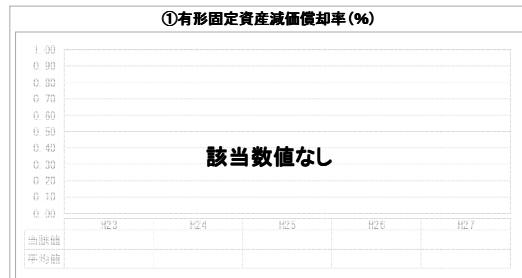
⑤施設・設備が1日に対応可能な処理能力に対する1日平均処理水量の割合を表す施設利用率については、経年比較では利用率がほぼ横ばいで推移している。類似団体との比較では低い状況となっている。これは節水器具の普及や人口減少等によるものと考えられる。

⑥現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所等を設置して汚水処理している人口の割合を表す水洗化率については、経年比較では僅かではあるが上昇傾向にある。類似団体との比較ではかなり低い状況となっているため個別訪問等による普及啓発を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③当該年度に更新した管渠延長の割合を表す管渠改善率については、漁業集落排水事業の整備開始年度が平成6年10月であり下水道管渠の標準耐用年数50年を経過した管渠がないこと、管渠修繕の必要もなかったことが要因で実績はない。今後は改築等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行った上で、計画的かつ適正な維持管理を図る必要がある。

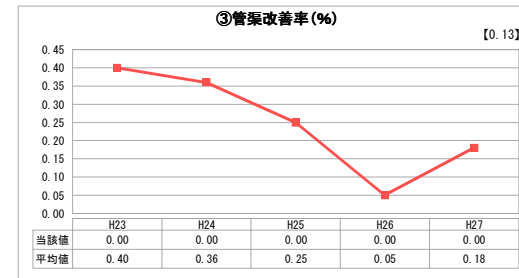
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 全体総括

類似団体と比較すると経費回収率など「経営の健全性」に関する経営指標は悪くなっている。また、汚水処理原価など「経営の効率性」に関する経営指標は低いことがわかる。仮に水洗化率が100%となっても汚水処理費（公費負担分除く）を賄えない状況であるので、経営改善のためには、今後も引き続き戸別訪問など水洗化普及活動に努力し、水洗化人口及び有収水量の増加を目指していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

能登町 漁業集落排水

		年 度		H26	H27	H28	H29
区 分		(決算)	(決算)	(決算見込み)			
収 益 的 収 入	1 総 収 益 (A)	21,474	21,547	17,811	22,953		
	(1) 営 業 収 益 (B)	4,423	4,552	4,541	4,639		
	ア 料 金 収 入	4,423	4,552	4,541	4,639		
	イ 受 託 工 事 収 益 (C)	0	0	0	0		
	ウ そ の 他	0	0	0	0		
	(2) 営 業 外 収 益	17,051	16,995	13,270	18,314		
	ア 他 会 計 繰 入 金	16,823	16,995	13,270	18,314		
	イ そ の 他	228	0	0	0		
	2 総 費 用 (D)	19,113	19,149	19,692	19,374		
	(1) 営 業 費 用	11,567	11,978	13,132	13,132		
	ア 職 員 給 与 費	5,652	6,045	5,732	5,732		
	イ そ の 他	0	0	0	0		
	ウ ち 退 職 手 当	5,915	5,933	7,400	7,400		
	(2) 営 業 外 費 用	7,546	7,171	6,560	6,242		
ア 支 払 利 息	7,546	7,171	6,560	6,242			
イ そ の 他	0	0	0	0			
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息	0	0	0	0			
イ そ の 他	0	0	0	0			
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	2,361	2,398	-1,881	3,579			
資 本 的 収 入	1 資 本 的 収 入 (F)	19,089	19,999	20,400	15,944		
	(1) 地 方 債 償 還 金	11,300	11,700	11,800	7,400		
	ウ ち 資 本 費 平 準 化 債	11,300	11,700	11,800	7,400		
	(2) 他 会 計 補 助 金	7,144	8,299	8,452	8,401		
	(3) 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0		
	(4) 固 定 資 産 売 却 代 金	0	0	0	0		
	(5) 国 ( 都 道 府 県 ) 補 助 金	645	0	0	0		
	(6) 工 事 負 担 金	0	0	148	143		
	(7) そ の 他	0	0	0	0		
	2 資 本 的 支 出 (G)	21,450	22,397	18,519	19,523		
	(1) 建 設 改 良 費	0	0	0	0		
	ウ ち 職 員 給 与 費	0	0	0	0		
	(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	21,450	22,397	18,519	19,523		
	(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0		
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金	0	0	0	0			
(5) そ の 他	0	0	0	0			
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	-2,361	-2,398	1,881	-3,579			
収 支 再 差 引 (E)+(I) (J)	0	0	0	0			
積 立 金 (K)	0	0	0	0			
前 年 度 からの 繰 越 金 (L)	0	0	0	0			
前 年 度 繰 上 充 用 金 (M)	0	0	0	0			
形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	0	0	0	0			
翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源 (O)	0	0	0	0			
実 質 収 支 黒 字 (P)	0	0	0	0			
(N)-(O) 赤 字 (Q)	0	0	0	0			
赤 字 比 率 ( $\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$ )	0	0	0	0			
収 益 的 収 支 比 率 ( $\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$ )	52.94	51.86	46.61	59.01			
地 方 財 政 法 施 行 令 第 16 条 第 1 項 により 算 定 した 資 金 の 不 足 額 (R)							
営 業 収 益 - 受 託 工 事 収 益 (B)-(C) (S)	4,423	4,552	4,541	4,639			
地 方 財 政 法 による ((R)/(S) × 100)							
健 全 化 法 施 行 令 第 16 条 により 算 定 した (T)							
健 全 化 法 施 行 規 則 第 6 条 に 規 定 する (U)							
健 全 化 法 施 行 令 第 17 条 により 算 定 した (V)							
健 全 化 法 第 22 条 により 算 定 した ((T)/(V) × 100)							
他 会 計 借 入 金 残 高 (W)	0	0	0	0			
地 方 債 残 高 (X)	382,561	371,863	365,144	353,021			
○他会計繰入金							
年 度		H26	H27	H28	H29		
区 分							
収 益 的 収 支 分		16,823	16,995	13,270	18,314		
	ウ ち 基 準 内 繰 入 金	16,823	16,995	13,270	18,314		
	ウ ち 基 準 外 繰 入 金	0	0	0	0		
資 本 的 収 支 分		7,144	8,299	8,452	8,401		
	ウ ち 基 準 内 繰 入 金	0	0	0	0		
	ウ ち 基 準 外 繰 入 金	7,144	8,299	8,452	8,401		
合 計		23,967	25,294	21,722	26,715		

(單位:千円、%)

H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
23,926	24,330	25,116	25,761	25,815	25,876	25,888	25,967	26,477
4,721	4,788	4,841	4,884	4,914	4,933	4,940	4,937	4,932
4,721	4,788	4,841	4,884	4,914	4,933	4,940	4,937	4,932
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
19,205	19,542	20,275	20,877	20,901	20,943	20,948	21,030	21,545
19,205	19,542	20,275	20,877	20,901	20,943	20,948	21,030	21,545
0	0	0	0	0	0	0	0	0
19,023	18,667	18,375	18,095	17,719	17,314	16,900	16,483	16,134
13,132	13,132	13,132	13,132	13,132	13,132	13,132	13,132	13,132
5,732	5,732	5,732	5,732	5,732	5,732	5,732	5,732	5,732
0	0	0	0	0	0	0	0	0
7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400	7,400
5891	5535	5243	4963	4587	4182	3768	3351	3002
5,891	5,535	5,243	4,963	4,587	4,182	3,768	3,351	3,002
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
4,903	5,663	6,741	7,666	8,096	8,562	8,988	9,484	10,343
18,657	48,965	51,468	15,872	16,268	16,660	20,248	50,034	53,227
8,700	24,100	25,300	7,600	8,000	8,400	10,500	26,300	28,500
7,200	7,600	7,600	7,600	8,000	8,400	9,000	10,800	12,000
8,319	8,232	8,239	8,147	8,147	8,143	8,134	8,123	8,119
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500	16,500	17,800	0	0	0	1,500	15,500	16,500
138	133	129	125	121	117	114	111	108
0	0	0	0	0	0	0	0	0
23,560	54,628	58,209	23,538	24,364	25,222	29,236	59,518	63,570
3,000	33,000	35,500	0	0	0	3,000	31,000	33,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0
20,560	21,628	22,709	23,538	24,364	25,222	26,236	28,518	30,570
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
-4,903	-5,663	-6,741	-7,666	-8,096	-8,562	-8,988	-9,484	-10,343
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0
60.45	60.38	61.13	61.88	61.34	60.83	60.01	57.70	56.69
4,721	4,788	4,841	4,884	4,914	4,933	4,940	4,937	4,932
0	0	0	0	0	0	0	0	0
341,161	343,633	346,224	330,286	313,922	297,100	281,364	279,146	277,076
H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H37
19,205	19,542	20,275	20,877	20,901	20,943	20,948	21,030	21,545
19,205	19,542	20,275	20,877	20,901	20,943	20,948	21,030	21,545
0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,319	8,232	8,239	8,147	8,147	8,143	8,134	8,123	8,119
0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,319	8,232	8,239	8,147	8,147	8,143	8,134	8,123	8,119
27,524	27,774	28,514	29,024	29,048	29,086	29,082	29,153	29,664